

船舶事故等調査報告書

平成23年3月31日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第25号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年5月8日（土） 16時30分ごろ	
発生場所	沖縄県 <sup>なんしやう</sup> 南城市コマカ島南方付近 久高島 <sup>くだか</sup> 灯台から真方位258° 1.9海里 (概位 北緯26°08.0′ 東経127°51.0′)	
事故等調査の経過	平成22年5月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 <sup>ちきと</sup> 千聖丸、1.6トン	
船舶番号、船舶所有者等	ON3-16525（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	プロペラ、同軸及び舵等に曲損	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、船首約0.1m、船尾約1.0mの喫水でうるま市平敷屋漁港を出港して浅礁を通過後、約16ノットの速力で手動操舵として南南西進中、船長が居眠りに陥り、平成22年5月8日16時30分ごろ、コマカ島南方のサンゴ礁に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東北東、風力 3、視界 良好 海象：潮候 下げ潮の中央期	
その他の事項	船長は、悩みを抱えていて、数ヶ月前から安眠できず、睡眠不足が続いていた。 船長は、平敷屋漁港を出港し、浅礁を通過して安心した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、平敷屋漁港沖の浅礁を通過して南南西進中、船長が居眠りに陥ったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、平敷屋漁港沖の浅礁を通過して南南西進中、船長が居眠りに陥ったため、コマカ島南方のサンゴ礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	